

# 浜松市における電子自治体推進

[www.city.hamamatsu.shizuoka.jp](http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp)



平成20年12月22日

浜松市情報政策官(CIO補佐官)  
小林文記

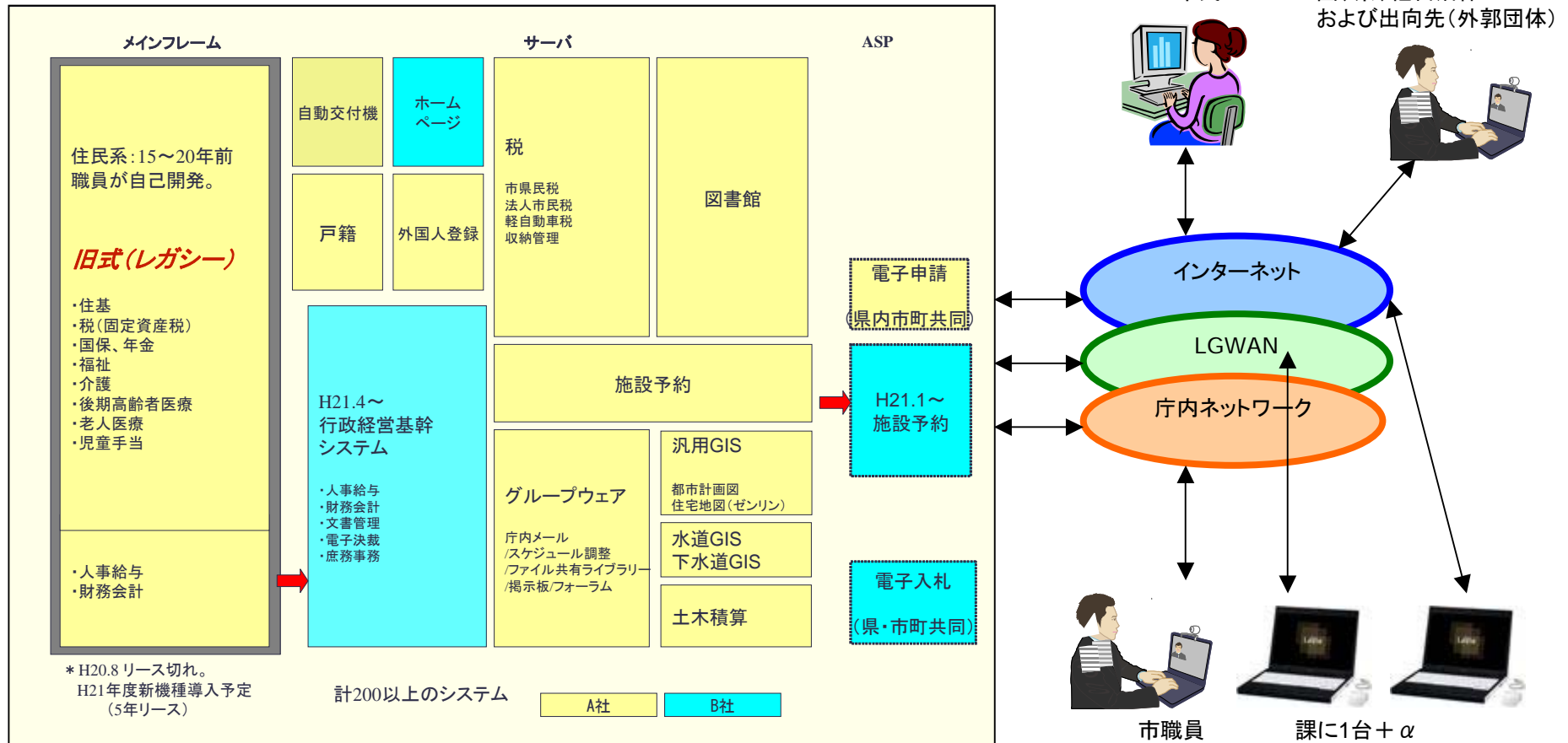
# 1. 浜松市の特徴



- 1) 人口82万人（内、ブラジル人3万人）
- 2) 面積1,511km<sup>2</sup>（全国第2位）
- 3) ものづくり都市（政令市第1位、隣接2市を合わせGDP 6兆円）
- 4) 農業都市（政令市第1位、特にみかん、花、野菜）
- 5) 行革都市（行革審、複式会計：総務省改定モデル）
- 6) 県庁所在地ではない政令市（県施設は野球場のみ）
- 7) 多くの限界集落を抱える政令市（都市部と過疎地の格差）
- 8) 総合窓口システムの元祖（平成5年稼動、146種類）



## 2. 浜松市ITの現状

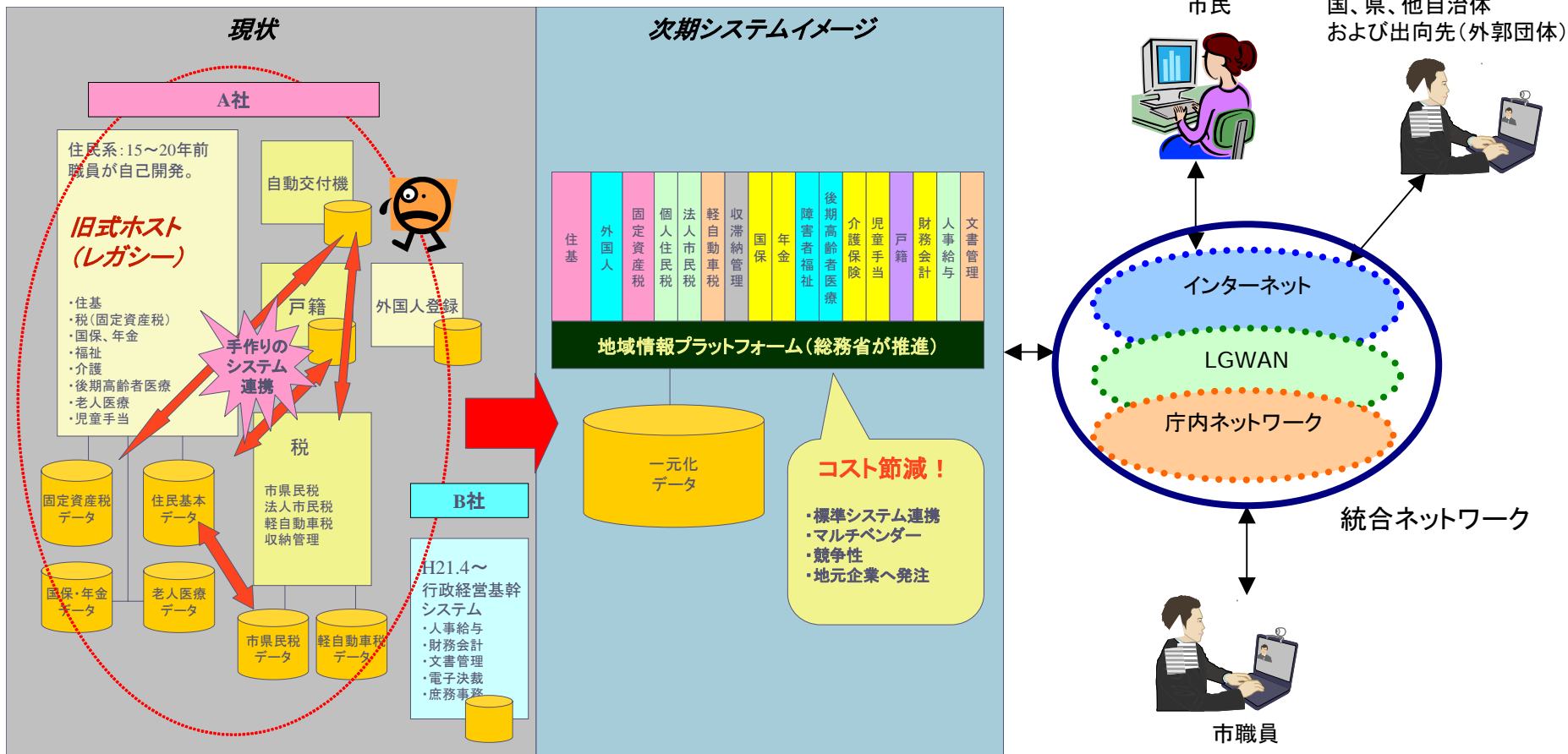


### 【課題】

- 1) システム最適化 (レガシー脱却、地域情報プラットフォーム導入)
- 2) ネットワーク最適化 (物理的に1つ、論理的に複数)
- 3) 見える化 (システム構成の見える化、ネットワーク構成の見える化、調達仕様の見える化、プロジェクトの見える化、評価の見える化、市民ニーズの見える化)
- 4) ITガバナンス体制強化

非公開

# 4. 浜松市IT最適化計画(案)



**【課題】**

- 1) 自己開発? (ベンダー業務パッケージの機能レベル、政令市対応カスタマイズ量、により判断)
- 2) 次世代総合窓口システムの考案(銀行営業店分析手法による調査)
- 3) ITガバナンス体制強化(全庁IT人材管理、全庁IT予算管理、全庁ITプロジェクト管理)
- 4) IT人材育成(市職員、地元IT企業)

## 5. 本質的な課題

	浜松市	ITベンダー
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事ローテーション制度(ゼネラリスト育成)</li> <li>・IT専門職制度の導入</li> <li>・人事評価制度(目標と評価)</li> <li>・財政部門のIT査定スキル</li> <li>・上位管理職のITリテラシー</li> <li>・縦割り意識</li> <li>・地域に飛び出せない職員体質</li> <li>・事務合理化に対する賛否論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ITベンダーの業務知識と提案能力</li> <li>・大手ITベンダーのプロジェクト管理能力</li> <li>・下請け、孫請け方式</li> <li>・作業結果の見える化(特定の技術者に依存)</li> <li>・地元ITベンダーの営業努力とSEスキル</li> </ul>
物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓(オフィス、マシンルーム)</li> <li>・個人情報以外のセキュリティ管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインフレームの将来性(技術・価格・保守)</li> <li>・サーバの信頼性</li> <li>・バッチ処理能力</li> <li>・ネットワークの見える化</li> <li>・独自開発技術による顧客囲い込み戦略</li> </ul>
金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい財政環境</li> <li>・単年度予算主義</li> <li>・予算流用制限</li> <li>・リース入札方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインフレームの価格付け</li> <li>・カスタマイズのビジネスモデル</li> <li>・見積もりの積算根拠(工数・単価)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法制度改正の仕様と施行日までの期間</li> </ul>	

## 6. 必要な取組み(案)

	浜松市	ITベンダー
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT専門職制度の導入</li> <li>・個人目標・評価制度の導入</li> <li>・ITスキル管理と育成計画の導入</li> <li>・CIOオフィスによる全庁IT予算査定</li> <li>・費用対効果分析</li> <li>・上位管理職へのITリテラシー研修</li> <li>・横串組織の導入</li> <li>・地域に飛び出す職員育成</li> <li>・事務合理化に対する賛否論の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ITベンダーと地元ITベンダーの棲み分け</li> <li>・地元ITベンダーの育成、組織化 (例:H20.4 浜松ソフト産業協会設立)</li> </ul>
物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓(オフィス、マシンルーム)</li> <li>・個人情報以外のセキュリティ管理強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインフレームの将来性(技術・価格・保守)説明</li> <li>・サーバの信頼性向上対応</li> <li>・バッチ処理能力向上対応</li> <li>・ネットワークの見える化</li> <li>・国際標準技術の採用</li> </ul>
金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算流用制限の緩和</li> <li>・リース入札方式の改善</li> <li>・共同開発・共同利用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ、共同開発のビジネスモデル化</li> <li>・見積もりの積算根拠(工数・単価)の標準化</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法制度改正仕様の早期開示要求</li> <li>・海外IT先進都市とのコラボレーション</li> </ul>	

### H20.4 米国シリコンバレー視察調査

San Jose市、Palo Alto市、CISCO、ORACLE、Google、Stanford大学、サンフランシスコ総領事館、等  
San Jose市(人口98万人):IT職員数157名、IT予算24M\$(内、18M\$が職員人件費)

### H20.7 World e-Government Mayors Forum 2008 in Seoul

ソウル市主催、国連・韓国政府後援。  
世界32都市が参加し、先進事例を紹介。日本からは、横浜市・市川市・浜松市が参加。  
2010年、世界IT先進都市による国際的コラボレーション体制設立(予定)

### H20.7～H21.2 はままつユビキタスシティフォーラム

- 第1回 電子政府・電子自治体(東大・須藤教授)
- 第2回 次世代GIS(ウインディネットワーク、アルモニコス)
- 第3回 ユビキタスネットワークとそのコンテンツ(シスコ、福岡天神大名WiFi化協議会)
- 第4回 IT人材育成とデジタルネットワークシティ(案)

### H20.10 全国地域情報化推進セミナー2008 in 浜松

基調講演 世界から見た日本の電子自治体 ～日本発オープンイノベーション～ (東大・須藤教授)  
特別講演 米国シリコンバレーにおける電子自治体 (前Palo Alto市長 岸本陽里子氏)  
パネルディスカッション 電子自治体の将来イメージ  
(上記講師、および市川市・井堀CIO、浜松市・山崎副市長、情報政策官)

### H20.12～ 浜松ほくえんCafé(山のSNS)

浜松市の北遠地域(中山間地)と全国(特に都会)の山や田舎の愛好者を結ぶ『山のSNS』  
現地から情報発信できるほくえんレポーター研修を実施

<http://hokuencafe.yamakei.co.jp/>



## 8. わが国の電子自治体推進に向けて(案)

### 地方政府IT推進本部 の創設

国主導により  
地方自治体と住民にフォーカスした  
IT戦略策定・支援体制を創設

### 共同開発・共同利用 の推進

都道府県または道州制ブロックを  
単位とする共同開発・共同利用の  
検討・推進体制を創設

地方自治体システム基本形を  
定め、地域情報プラットフォーム  
完全準拠を義務付け

### 世界IT先進都市との コラボレーション

世界IT先進都市との情報交換、  
相互にノウハウを提供、  
さらに共同開発を視野にいれた  
コラボレーション体制創設に協力